

【愛媛看護研究学会選考基準】

※ 原稿作成の際の参考としてご活用ください。

項目	番号	内容
表題	1	内容を適切に表現している
目的 背景	2	この研究により何を明らかにしようとしているかが明確である
	3	研究の動機・意義が明確である
方法	4	研究方法は、研究目的・目標達成のために妥当である
	5	対象は適切である
	6	データ収集方法および手順を示している
	7	分析方法は妥当である（測定用具の選択の妥当性・測定基準の信頼性）
結果	8	研究目的にそった結果を示している（テーマと合致している）
	9	事実を客観的に示し信頼性がある（考察と混在していない）
	10	図表の表現・体裁は適切である
考察	11	得られた結果に基づいた解釈をしている
	12	研究目的にそった考察で一貫性がある
結論	13	本研究で明らかになったことを総合的にまとめている
	14	主張したい事項などを簡潔に明示している
倫理的 配慮	15	個人が特定されないように配慮している
	16	①倫理審査委員会において研究に関する倫理審査を受け、承認を得ていることを示している。ただし、倫理審査委員会相当の決定機関の承認を得ている場合は、その旨を記入している。実践報告の場合は、所属施設の承認を得たことを示している ②対象者（または代諾者）から 研究実施ならびに発表に関する自由意思による承諾 が得られていることを示している ③対象者の不利益が生じないように配慮していることを示している
	17	二重投稿に該当していない（他学会誌および出版物等に未投稿、未掲載のもの）
発表価値	18	看護実践、看護活動に根ざした問題提起がある（政策提言の内容でも可）
	19	実践・事例報告の場合は、日常の看護実践の向上や改善に役立つ示唆が得られている
	20	看護実践に意味ある事実や知見がある
その他	21	原稿作成要項に添って記載されている

* 研究倫理に問題があるものや選考基準を満たしていない場合は再提出となります。